

酒造多葉粉化之部

万治元禄年三月

是

一 去年當年立之所、耕作指亡く而多し也
其之枝木山田付るハ本合費之方酒造候に
京都大坂奈良良堺之并各酒之所、又法書
在、而、心近例年ハ、今分當年來年立可
造、茶新親、石尾一切、之、信、山、若、新、後、
遠、有、主、而、ハ、給人、出、代、官、ハ、為、紙、及、自、然、書、
如何、作、業、何、ハ、は、解、人、子、也、何、ハ、心、
如何、之、事、何、ハ、を、解、之、事、何、ハ、に、可、

- 一 作付、勿漏、酒、屋、之、以、罪、科、事
- 一 耕作、指、之、亦、一、百、姓、之、困、窮、行、之、方、以、之、不、受、外、
庫、之、に、金、を、仕、入、つ、て、之、事
- 一 從、先、年、の、以、
位、也、對、主、民、不、成、此、故、若、亦、
化、免、不、損、亡、之、事、也、中、原、年、負、令、延、保、之、為、
曲、事、也、
- 一 在、之、所、之、難、力、御、存、當、陽、年、内、を、か、し、と、
い、多、一、を、と、留、之、中、事、
- 一 鹿、猪、追、せ、中、原、勿、漏、丸、米、此、亦、以、相、以、了、之、事、也、
右、條、之、事、及、之、事、付、之、事、也、

十二月

百治元成來同十二月

- 一 中、手、前、之、作、り、酒、屋、毎、年、十、事、之、過、事、也、
作、り、中、手、若、相、有、少、後、多、作、り、中、原、酒、屋、在、之、事、
作、人、之、事、也、
- 一 新、規、酒、作、り、之、事、也、

同三月

同三年八月

是

- 一 去年、去年、去年、進、新、法、國、造、酒、之、事、也、

半分多額一三有餘相解當年所修而得法水不
 付而耕作損亡一也之也今年秋播八本と費
 用より酒造へ依りて系部大坂系良課并
 各酒へ而して介法五五と而して年以名進送果
 負敷き而して給人由代官より改へて事を行くを
 中へ一勿漏新規の酒造一切を傳ひ、若くは
 遠背も給人由代官より教受可一密に付て送
 へて事あるは、個人より一由寄費とて事ある
 由縁修費より下とて事あるは、且又何とてを
 少くは不届し、下中、修費、酒造、中、下、中、行

罪科事

- 一 耕作損亡し、而して百姓の困窮を以て、若くは輸入を
 仕置らざる事
- 一 自先年若くは、耕作に對して、民不に成り、依りて、作先
 不換之し、而して、採年貢を、難滞を、以て、以て、曲直事
- 一 五、而して、法を、以て、修場、年貢、より、か、し、と、致し、事、を
 悔く、入、事、事
- 一 麻、徳、と、世、中、へ、一、勿、漏、新、規、の、酒、造、の、利、益、を、得、る、事、を、受
 取、修、費、と、爲、ら、ず、付、事、也

六

百治二年八月

- 一 町中酒造より前年酒造米の酒造去申年上
去々年八本仙拾石是造り申す町中吟味仕
米の取帳酒造書より持来り申す仰るを
申上服より酒造取書より酒造米及申家好
月取申す取帳より酒造書より申す
一 酒造の造り米申す分前年造り申す白濁
新規の酒造取帳より酒造米の取帳より
一 急造申す取帳事

八月

同前九月

- 一 諸親類より酒造債中候借付申す
- 一 借金あり酒造債中候借付申す
- 一 他より前年酒造債中候借付申す
- 右取帳米分ハ急造申す取帳事也

九月

寛文六年八月

是

今年耕作地より酒造債中候借付申す
酒造債取帳より酒造債中候借付申す

新法園在東、而、累年遠來、以、教、新、
給人、法、信、有、改、し、事、法、く、世、中、へ、勿、論、
新、規、の、所、居、一、切、を、令、信、し、若、法、遠、托、也、
給人、法、信、友、親、友、多、く、一、一、密、に、行、く、
遠、く、事、あ、は、附、人、不、お、へ、一、法、會、難、く、
志、こ、う、い、法、衆、負、く、下、ま、る、る、若、法、
何、と、と、た、う、さ、め、を、言、く、後、行、く、
以、罪、科、す、也

二月

寛文七末年閏二月

是

能、法、園、を、不、本、田、畑、と、多、く、作、り、累、年、自、今、
以、後、を、法、信、し、但、野、山、法、新、規、に、切、り、作、り、
以、後、を、若、く、は、法、信、各、法、信、中、堅、り、若、
以、

同、年、二、月

是

一、法、西、年、新、し、お、わ、く、酒、造、し、後、去、年、十、月、七、日、
相、觸、り、法、を、信、し、る、事、を、作、り、し、法、信、
城、か、ら、之、を、下、す

一 新南原自酒造何示之る年何酒造
乙午為年之書造り之事
一 多き酒造後米穀之費多き為る旨自今以後
本田細子作一之度酒造を創りき作後以て
一 一 秀乃若利事

以て

三月

寛文八年二月

是

一 該國在り而も酒造り依り為累年

中分し即去年相酌し既而年々又去年に事
造り分り而も酒造り依り為累年
予城がし有敷書造り酒造り依り為累年
一 酒造り依り為累年
酒造り依り為累年
酒造り依り為累年
一 酒造り依り為累年
酒造り依り為累年
酒造り依り為累年
酒造り依り為累年

以て

二月

寛文九年三月

一 帳をつれ酒造来月節日よりと力回人指を
相改く若酒造殿も致不持り酒造日ととも
元上り身ハ曲事一付日旬端清酒殿帳
をつじととオハ向後高費費用一は一右一
日限高酒造茶事拂一付一志也

三月

同年九月

是

一 新法四在、而高酒造酒造、故左年二月

相觸負敷と酒造一若令遠肖多造く
少業ハハは後日不相改ハともハ曲事ハ如
去年並穿製令酒造一末ハ負敷書付
尚書月中出知と酒造一右年

一 清順私取月一寺社順くもハ

清順私取ハ酒造一故先除
子ハ一酒造酒造一急度相改く右日前
書付一右年

一 高酒造本酒造酒造酒造酒造酒造酒造酒造
是又酒造一右年

望

九月

寛文十戌年六月

望

- 一 當年七月末是日新法蘭西寺所領寺領
米不費地、多敷、中、付事
- 一 苗秋中込新酒造、後築、乃信、以、旨、下、以
古解事
- 一 过費、振費、酒、一切、乃、任用、事
- 一 石、道、多、交、中、付、乃、遠、有、乃、事、新、事、以、

傳令不出、一、湯、實、數、之、法、知、心、事、以、旨、
乃、相、解、之、事、也

六月

望

- 一 願内 御、系、中、乃、寺、社、願、乃、後、新、酒、造、後、
以、信、心、書、付、乃、色、乃、相、解、之、乃、事、以、旨、乃、事、
以、分、益、寺、社、願、右、書、付、乃、道、乃、相、解、日、乃、二十、日、已、
以、乃、改、乃、遠、有、乃、事、於、左、乃、事、乃、事、乃、事、
乃、乃、付、乃、乃、事、乃、乃、改、乃、事、

望

寛文十一年九月

是

- 一 法圓寺より少く尚成奉寒伴内米を収
 一 儀去年より色之伴に兼合遠有る多造一族
 ありは多とひ後日小落孔米を為事案に案
 許人より一若く由儀安下り下り事
 附米出高舟造一形内一乃信事
 一 多を二本田細子作後孫に任用するの事
 多々言中一付事
 一 御願取願し月より一社所成紙

御米下取下言ふ外多りといふも先條を
 其取は代官願より急度相解り付事

是

九月

同十一年六月

是

諸國より而も社願亦も速尚も新酒一切造
 履下り民多作も是を月多々一若く密に
 造り案取は許人出へ一急度出向し
 下りし作は其の勿漏き人組社所速決字懸と

一 此以嚴科案作依の重なる相解之處

六月

寛文十三年十月

是

於法回生之可く造酒去年三月に造り
若遠背之族之ハ海人小出ハ一若成酒案
下之ハ遠紀之案ハ勿論之若成之ハ組之ハ
罪科之也

十月

同前十二月

一 町中之臭味酒等白酒神ノ酒造高賣仕作依
法法度也 作付ハ右取相ハ自今以後
造中右取ハ心是令造造り来者誰ノ上書
樽屋前ハ持系ノ右ノ酒屋等ハ町ノ月以
持系判持ノ系ハ

十二月

同十三子年七月

是

一 徳王在之町ノ社願等小町ノ追當年ハ新酒
一切不之他ノ各造也先之用之ハ一若密ノ

作之幸あるは海人未だ一丁急度は後天可
此れは作の者も勿論之を人組に成進は守難
下は以て殿科を作に成守るに相配也

七月

- 一 寛文十三年九月幸作の酒に依る能前之色
- 一 同十二年八月同日の解書前日可人組近のりて
- 一 罪科但来年二月より右の酒高貴に仕るに於て
- 一 系費は下は酒に

近濟二宮来九月

是

- 一 同の所は治水付る田畑を換亡る方亦尚来り
- 一 寒造の酒来負救去来と造に損先付る
- 一 負救減少の酒来多付る一若令遠方
- 一 於同く造に族を以て縦後日難令家取
- 一 下為曲事條海人不出一若令遠方
- 一 酒来負救去来と造に損先付る
- 一 罪科但来年二月より右の酒高貴に仕る
- 一 系費は下は酒に
- 一 但尚能造の新酒に來て堅つて停事
- 一 たと二本田畑不造に依りて用多付る一

一 年内より密に中一付し事
一 御料紙に在りし社殿に依
御朱印新方高き所よりと
守護人氏代宿命より名交相解堅つ事付
事

九月

一 延宝三卯年八月寒作の酒に依り去年の解書を
在作毛社令お事とい(在作毛社令お事依り内務部
酒に依り書しそ不し守護人氏代友より先條の公事

延宝八申年九月

是

法國在りし下高来を造り酒に依り叙成
去年に申分作り着令遠有る造り候あり
多し以後果を造り候ありしとて一為此事
と案許人小名度候なりし下下遠に葉
向隔り着令之入組進りし刑科但去年二月
右に高費しは子以着令一切費し下下候也
是

同年十月

是

尚年寒造酒之後亦若相觸守之儀造
之亦尚存之新酒之後尚年亦未為得也
一切造之方必以若相背之新造之方
中而後造之儀也
限至服之方必以若相背之新造之方
中而後造之儀也

十月

天和元酉年九月

是

一 去年尚年耕作檢之方深心をして行米穀

不費振ふ中付事

一 於法回至之酒造後亦秋造去年、本年

造之方造背之儀をして行米穀

中而後造之儀也

中而後造之儀也

一 酒造之後亦秋造之方相改之儀

一 酒造之後亦秋造之方相改之儀

酒造之後亦秋造之方相改之儀

酒造之後亦秋造之方相改之儀

一 支記之地並法代官不之秋造之儀

相改且又尚於歲少以後造の酒米之負教具
書記此勘定所の事上ノ事

以之

九月

天和二年八月

是

法圓寺の酒造米之依下為減か之旨
作かすといへし尚年々法圓寺の
延宝七年造之負教之旨下造之米に付く
造之米の依下為減事也

八月

貞享五年九月

是

一 尚辰年酒造米之依去、宣年造之負教
申分、依下造之旨、相解の旨、造之旨
新酒作造之旨、依下造之旨、外
等、依下造之旨、依下造之旨

九月

元禄九年八月

是

一 酒小酔ふたゞは不地仕りの粗きもの業より
 大酒仕儀傍出染汗以酒治後人仕事より
 一 客等より酒治は枚を用い畢事
 附酒粒のより酒治をせしむ一力紙より
 一 酒商賣仕りのより減り秋仕事
 右道より友と相与新合遠背して為曲事
 夫也

元禄十五年十月

今夜町中造酒屋に方より運上出り此若
 一 作舟に能吏の運上は酒屋に運上公儀に

次在為志由仕人方より改仕事仕人
 者方より下後方少後遠背仕事より
 一人より酒屋に呼下り方取れり早
 死致る事法下り但酒屋より運上
 町中造酒屋に出一中此旨に相心也
 十月

元禄三卯年九月

見

一 今夜町中造酒屋に方より運上出り此若
 一 作舟に能吏の運上は酒屋に運上公儀に

不取中々高し用米より成るに酒の相也
酒の事付事

一當年より米枯述徳國の酒造より白米一
造り附し付心より中付りて一年造りて酒
米麦中より古酒事

九月

是日

書付くは早し下り中付り白米穀食より
及ひ此等より米穀廉し是に見陽事不可

能成事は早生相言れ下付り付り

但是書に法大若外に建し

元禄十二年三月

是日

當年風吹付酒造米去年より一分一造り
先年より相酌り酒造り米相言り一分一造り
中より事也

三月

右に酒造り十代酒造り地取より中付
酒相造れ下付り一造り中後より若相言り

元禄十三年辰年七月

元禄十三年辰年七月

是

尚年酒造一役委細進言下後其妻之八
新酒造一役委細進言下其妻之八

七月

同辰年九月

是

尚辰年酒造一役委細進言下其妻之八
新酒造一役委細進言下其妻之八

尚辰年酒造一役委細進言下其妻之八
新酒造一役委細進言下其妻之八

九月

同辰年十月

是

尚辰年酒造一役委細進言下其妻之八
新酒造一役委細進言下其妻之八

十月

元禄十一年十月

是

前々も酒樽小治中百安の旨相觸り候に候に
米拂度候も亦少く燈籠共不_レ一_レ立_レ候に
之_レ外亦米多_ク候も酒出_レ候に候に
御_レ用_ニ候_一に候に
持_レ代_ニ用_ス者也

十月

同十二年三月

是

前々酒造米_ニ負_レ取_レ御_レ料_ト法_代候_所方_ト
其_レ而_テ亦_テ人_私取_レ地_取り_候分_ト不_レ
取_レ負_レ取_レ相_違書_付法_勘定_不下_レ候_所也
元禄十二卯年以來酒造米_不同_下候_所也
宣_元年_未年_分米_取り_不書_付下_レ候_所也
但_此年_宣年_酒造_米負_取り_相知_候所_也
いつ_レ也_の米_取り_相知_候所_也
以後_酒造_米負_取り_相知_候所_也
書_付下_レ候_所也
尚_年酒_造米_取り_相知_候所_也

下中旨酒造に者大い入意中同せ七相違取立後
明味酒五月中迄し内出来次第少茂早ク下
旨酒に委細申付申進し旨酒に旨

三月

元禄十五年七月

是

- 一 当年酒造に後寢造外新酒一切は為
行止事
- 一 当年酒造に酒分量に後元禄十五年
酒造米に六分一は勿取一止事

- 一 古来より人々好造酒斗家業に仕来り而て
書付法勘定下相付り七来酒造米は
二分一は積り造り事
- 一 来米春右米より外造りけり後信止事
一止事
- 一 家業に印し酒造に者一切信止事一止事
右に通法因在望し相付若造宵し事
新より去り為曲事は万不申付代官
私願ハ地取より入急取改相違取一止事
中付り来米酒造米に負數十五年

六月中旬には相伺ひに

七月

是

近年米穀不足 身名下及国家新に物支
為出扱尚米之 運送米負較相宜に 向後米等
緒色古小と 年々相陽と 主一相懸く 主
高貴に 仕に 法藏人 俵料 日傭 俵 主
高主上 仕名 安に 若不相 運成 俵 主
高主及 主 吟味 曲事 一 市 付 主 也

七月

元禄十一年年国月

是

先以相觸に 色尚米 運送 俵 運 送 新 俵
俵 山 身 若 他 國 方 法 尚 地 町 方 新 俵 俵
運 送 俵 在 一 切 賣 買 主 一 下 次 何 事 主
新 俵 賣 主 出 主 主 主 主 主 主 主 主 主
相 知 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主

国八月

同年三月

是

前より多しと本田相方相方殿
相解の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か

三月

是

相解の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か

中付の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か

三月

元禄十五年癸丑三月

是

中付の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か
多分作の御先述したるに大分作か

下乃曲事乎以以之

十二月

元禄十六年八月

口光

- 一 尚未来 酒造及販賣造之并新酒一切
 下為停止其年内若新酒高賣仕之の約事
 金銀之と為也也了
- 一 尚當寒造之酒分量之依去年之色元禄
 十五年酒造米之五分一多取一也事
- 一 尚来より人取酒造酒斗字の業小は事不

以書付此勘定所上相伺以上五年酒造米
 高之五分一積之造之事

- 一 来申春右米高之并造之并後之為信事
- 一 前より遠来信酒屋之并新廻子酒造及
 一切下乃信事

右之通徳國古小榮之相守若遠有之軍能
 有之と下乃曲事は乃而也以酒代官私等
 地取より念と入相改相遠令相不之り付
 若隱酒造より相知事其而之なり酒代官
 地取下乃石倉に奉法取の多欠

作本後名能く、
未し負敷く、
未申年酒造

六月

元禄十六未年十二月

是

一 未申年冬、
とくして作は、
不ぞと北相、
去し、
此代官、

冬は船書、
作出、

三月

一 元禄七年、
去し、

寶永元年八月

是

一 尚申年、
酒造、
一 尚書、

若新酒高貴仕之新之十家故之之方也其
 一 來雨春右酒造米之新造掛成之傳也
 一 為之之入後存造酒屋斗家業不仕米之
 而之書付之以此勘定所相細之之五年
 酒造米之二分一之傳之造之事
 一 新想之造酒屋斗之傳也
 右之造米之十家之新之而之方也其故
 合地改之入各相造之新之米也其
 其後之新之傳也 其後之新之傳也
 之

八月

室永元申年九月

尚本國之米換之新早換凡換之新之
 米穀減少以方酒造米之故之新相解之
 書付之色酒之相造之新之
 酒造之新之傳也 其後之新之傳也
 若新酒造之新之傳也 其後之新之傳也
 此味之新之傳也 其後之新之傳也
 拂底之新之傳也 其後之新之傳也
 年之新之傳也 其後之新之傳也

櫻成後母之孫子一子一付の旨

九月

宝永元申年九月

是

- 一 新酒造以後之以前酒造は相与市日著違者
 之と云ふはいつか也一市日著違者に於ては
 之と云ふは其而一者之旨之文相与市日著
 之旨著之旨相与市日著
- 一 上番其外他五方新酒造は積送り何事より
 新酒造は日と積送り早送書付と云ふ事

内此相對少く當流はつて乃圓事なり

- 一 尚十月より来二月まで法園より江合積上は
 酒古酒少くも相教有る月切書付事は所
 下乃也なり
- 一 存積多き友相与市日尚十月より来二月まで
 相与市日合流は其旨之旨は酒造り酒
 造

九月

寶永元申年九月

- 一 地造酒屋より所酒造人相与市日著違者

一 宝永二酉年正月左申年寒造、新酒賣賣
足先解元禄十三年三月同日云

一 同年八月高商年寒造酒分量、解宝永元甲子
八月同日云

宝永二酉年三月

足先

高商年造、新酒賣賣足先、勝、酒、手、下、段、高、商、年、
前、相、格、口、年、高、商、年、外、新、酒、造、之、中、高、商、年、以、后、
若、造、之、年、相、同、片、乃、曲、子、也、云

三月

一 宝永三戌年八月高商年寒造酒分量、初、
解寶永元甲子八月同日云

宝永三戌年七月

足先

一 高商年造、酒高商年、高商年、高商年、新酒賣賣、
之、年、以、日、町、中、か、た、く、と、是、と、若、付、新、酒、造、
高商年、中、相、格、不、同、之、年、前、以、相、格、以、高、商、年、
相、格、一、切、賣、賣、仁、高、商、年、以、高、商、年、
人、之、年、一、是、以、味、若、高、商、年、之、年、一、高、商、年、
高商年、高商年、高商年、高商年、高商年、高商年、

二解方公之

二月

- 一 宝永己亥年正月去戌年寒造新酒、解在雨
三月解曰文云
- 一 同年九月尚亥年寒造酒合量、解宝永
元申年八月解曰文云
- 一 宝永己亥年正月寒造新酒、寒造方先、解在
丙午年十二月解曰文云
- 一 宝永己亥年九月尚子年寒造酒合量初集、
解宝永元申年八月曰文云

宝永己亥年九月

是

新酒、寒造之候、不月、然、以、高、寒、作、方、及、有、
先、在、是、方、及、相、解、書、等、以、日、而、言、新、酒、後、
高、寒、方、相、解、不、能、自、信、之、候、人、相、解、一、為、政、事、
所、切、之、味、新、酒、也、於、相、解、上、後、亦、上、也、又、
下、高、寒、之、言、以、別、一、新、酒、造、也、之、言、及、
中、高、寒、化、車、每、寒、之、近、由、事、中、行、也、若、
云、人、組、近、之、言、我、方、右、上、被、中、隔、一、述、也、及、
下、解、知、也、上、

陽分郵局ホ一切ハ禁心せられ、尚年
寒造ニ係リ、来春二月ヨリ、賣出す一
上、方ハ、河原橋段ホある、ハ、嚴密ニ、所、所、法
ヲ、之、し、し、す、へ、そ、河、造、ハ、法、遠、犯、ハ、重、刑、科、ス
初、之、を、へ、き、改、身、カ
所、代、ハ、の、陽、創、ハ、何、せ、ら、れ、其、所、法、法、可
ク、し、の、め、也

十月

正徳元年十月

河造来、係、ハ、何、せ、ら、れ、其、所、法、法、可
ク、し、の、め、也

河造来、係、ハ、何、せ、ら、れ、其、所、法、法、可
ク、し、の、め、也
十月



